



熊本地震で被災された方への支援活動を展開 日本赤十字社を通じ、災害義援金を寄付



関西大学は、5月9日から20日まで、ボランティアセンターを中心に熊本地震災害義援金募集活動を行った。集まった義援金は971,974円で、日本赤十字社を通じて被災地に届けられた。6月2日には、本学関係者が日本赤十字社大阪府支部を訪れ、義援金目録贈呈式を挙げる。木谷晋市副学長から日本赤十字社大阪府支部事務局長の服部道代氏に目録が贈呈された。代表学生として式に出席した公門大輔さん(文3)と首藤優実さん(社2)は、「誰もが被災地や被災された方々のために何かしたいと思っていて、義援金にはその気持ちが込められている。役に立てたらうれしい」と、一日も早い復興を願いつつ、思いを語った。

第39回総合関関戦で 関西大学と関西学院大学の体育会が大接戦

6月17日～19日、体育会伝統の交流戦「総合関関戦」の本戦が開催された。39回目を迎えた今年のスローガンは「真志」。全員が真摯に試合と向き合い、勝利を志すという意味が込められた。関西大学は、前哨戦を8勝7敗で10年ぶりに勝ち越し。最終日の最終競技まで総合優勝の行方が分からない白熱の試合を繰り広げて健闘するも、あと一歩及ばず、総合成績は15勝17敗で関西学院大学が勝利した。これにより、通算成績は関西大学の16勝22敗となった。



写真提供：関大スポーツ編集部

体育会サッカー部が第45回関西学生サッカー選手権大会で優勝！ 総理大臣杯へ2年ぶりに出場



6月5日、ヤンマースタジアム長居で第45回関西学生サッカー選手権大会の決勝戦が行われ、体育会サッカー部が3年ぶり8度目の優勝を果たした。この結果、8月6日から長居公園内の各スタジアムを中心に行われた第40回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントに、2年ぶりに出場した。1回戦では北海道教育大学岩見沢校に大差で勝利するも、2回戦で順天堂大学に惜敗し、チーム目標の「全員サッカーで日本一」には届かなかった。

梅田キャンパスの愛称決定

今年10月、関西大学は大阪市北区鶴野町に新たな拠点「梅田キャンパス」を開設する。大学関係者を対象にその愛称を募集し、6月27日、応募総数506点の中から塚本涼馬さん(社3)の「KANDAI Me RISE(かんだいみらいず)」が選定された。自分(Me)が飛躍する(Rise)という意味が込められており、新キャンパスを起点に未来を描き、羽ばたく関大を表現している。

創立130周年記念カウントダウンボードを設置



来る11月4日(金)、関西大学は記念すべき創立130周年を迎える。記念日の130日前にあたる6月27日、千里山キャンパス正門横にカウントダウンボードが設置され、除幕セレモニーが開催された。当日は、本学学生・教職員らが見守るなか、白い布で覆われていたボードがお披露目され、電光掲示板に「130」日の文字が鮮やかに浮かび上がった。